

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873400273
法人名	有限会社エル・シー・エヌ
事業所名	久万いこいの郷
所在地	上浮穴郡久万高原町入野1726番地5
自己評価作成日	平成24年8月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>自然の中で静かに季節を感じながら生活できます。入居費を低く設定して月々の負担費用を抑えています。地域的に家族が遠方の方、高齢者のご家族が多く松山市内の病院受診などいこいの郷で送迎し付き添っている。</p>
---

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年9月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●事業所の開設後に、周辺には新しい住宅が数軒建ち、地区には若い人が増えている。お隣のうちの方とは、事業所玄関の出入り時にお会いすることもよくあり、あいさつされたり、避難訓練にも参加してくださっている。又、7月に行った夕涼み会は、ヨーヨー釣り等、子ども達も楽しめるよう企画して、近所に住む家族も参加してくださった。利用者は、子ども達が楽しむ姿をみて、とても喜ばれたようだ。近くにある中学校の生徒が職場体験に来られたり、又、利用者は運動会等を見学に行かれることもある。今月行われる地区の敬老会には、3名の利用者が参加する予定になっている。会場では、運営推進会議にも参加して下さっている地区の民生委員の方が、手招きして席まで案内して下さるようだ。 ●利用者の入浴の習慣や「日中に入るのは病院みたいな」と言われる利用者もあることから、事業所では、夕食後、だいたい19時～21時までの間に毎日3名ずつ、一人が週に2～3回程度、入浴できるよう支援されている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

久万いこいの郷

(ユニット名)

グラ

記入者(管理者)

氏名

西岡祥太

評価完了日

平成24年 8月 15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>いこいの郷の『いこい』の文字に習って、いつも笑顔、行動はゆっくり、一緒に楽しくをモットーに取り組んでいます。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>法人代表者は、『「い」いつも笑顔で「こ」行動はゆっくりと「い」一緒に楽しく』と理念を作り、玄関を入ったところに掲示されている。又、管理者は、ミーティング時に理念について話し、職員が理念に沿って日々のケアを振り返れるよう取り組まれている。法人代表者は、今後は、「職員は脇役」の、「利用者主体の個別ケアを目指していきたい」と話しておられた。今後さらに、職員がやりがいを持って、笑顔でケアを実践できるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>アラマ地区の、一員として地域の奉仕活動や秋の地方祭に参加。施設行事に地域の住人を招待したりと交流を行っています。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>事業所の開設後に、周辺には新しい住宅が数軒建ち、地区には若い人が増えている。お隣のうちの方とは、事業所玄関の出入り時にお会いすることもよくあり、あいさつされたり、避難訓練にも参加して下さっている。又、7月に行った夕涼み会は、ヨーヨー釣り等、子ども達も楽しめるよう企画して、近所に住む家族も参加して下さった。利用者は、子ども達が楽しむ姿をみて、とても喜ばれたようだ。近くにある中学校の生徒が職場体験に来られたり、又、利用者は運動会等を見学に行かれることもある。今月行われる地区の敬老会には、3名の利用者が参加する予定になっている。会場では、運営推進会議にも参加して下さっている地区の民生委員の方が、手招きして席まで案内して下さるようだ。</p>	事業所は、地域の中の「憩いの場となりたい」と考えておられ、中庭等も活用して、「地域の方が気軽に来てくれるよう工夫したい」と話しておられた。今後さらに、利用者の趣味や社会性等も活かして、地域と利用者をつなげるような取り組みにもチャレンジしていかれてほしい。又、運営推進会議等も活かして、いろいろな方と知り合ったり、関係を深めていかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>地域の民生委員さんや自治会長さんに運営推進会議に参加をお願いし協力関係を築いています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
				施設の状況報告、行事活動を報告し合い、外部の方へ協力や相談を行っています。	
			(外部評価)		
				利用者や民生委員、介護相談員の方等にも参加いただきながら会議を行っておられる。会議では、「職員アンケートについて」「業務の仕分けについて」等、毎回、「検討議題」を決めて、事業所の取り組みを報告されたり、参加者から意見を聞いておられる。会議は、町役場の担当者の方には出席いただけるよう、平日の日中に行っておられるが、事業所では今後、「行事の日等、ご家族が来られるような時に開催したり、夜間や休日等に開催することも検討したい」と考えておられた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)		
				必要に応じて、連絡を取り合い、相談もしています。	
			(外部評価)		
				町の担当者の方は、運営推進会議に出席くださり、運営やケアについて、細かく指導やアドバイスをしてくださっている。介護相談員の訪問が月に2回あり、利用者とお話して、時には、排泄等についてアドバイス等をいただくこともある。事業所では、障害者の雇用も支援されており、職員は、事業所内の清掃等の仕事をされている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
				定期的に身体拘束については学習を行っており、知識を高めています。薬物拘束も起きないように、主治医とも相談を行っています。	
			(外部評価)		
				重要事項説明書には、「利用者の人権と権利」を明示されており、「暴力や虐待および身体拘束は行いません」と、利用者やご家族と約束をされている。居室にセンサーマットを設置している方もあり、利用者が動くと、台所で音が鳴るようになっている。又、各居室にはナースコールが設置されており、利用者は必要時にコールを鳴らして職員を呼ぶこともできる。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  虐待防止については、日頃より話し合いを設け、スタッフ一人一人が知識を持って業務に携わっています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在、成年後見制度を利用中の方が2名おられます。相談委員さんも来てもらい面会を行う等、交流も行っています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約内容に対しては、時間をかけて一つ一つの内容に納得してもらうよう説明の場を設けています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  苦情や不満に対しては、相談窓口を設けています。苦情のさいには文章で残し、会議にて話し合いを行っています。  (外部評価) 入居契約時に、グループホームのサービスについて、ゆっくり時間をかけてご家族等に説明をされている。近くに住むご家族は毎日訪問してくださる方もある。又、町外、県外に住むご家族には、管理者が電話でよく連絡をされており、季節の変わり目には、衣替えをお願いする等して、事業所に足を運んでもらえるよう呼びかけておられる。毎月、事業所新聞を発行して行事等の報告をされたり、クリスマス会や夕涼み会等の案内もされている。ご家族に電話でご本人の状態を報告された際、胸元が汚れる場合があることを伝えたことがきっかけで、ご家族がタオルでエプロンを作って持ってきてくださり、調査訪問時にも着けておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月一回、全体でのミーティングにて話し合い、各棟ミーティングでは、管理者も参加して意見交換を行っています。	
			(外部評価) 冬場、積雪のため職員が自宅に帰れないような場合は、近くにある法人のマンションを使用できるようになっている。外出計画等、職員からの提案があった場合は、日勤職員を増やす等して出かけやすいような体制作りにも配慮されており、法人代表者は、「まずは試してみる」ことをすすめておられる。職員は、利用者の睡眠状況の把握に努められ、医師と相談しながら入眠剤を使用せず支援できるよう、ケア改善に取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員のストレス改善のため、年に2回ほどの親睦会を行っています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内研修や外部の研修にも参加し、職員のスキルアップに努めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同業者との話し合いを設けている段階です。	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査にはご本人、ご家族、医療、ケアマネージャー等関係者が立会い、関係を深めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)  契約時には、内容説明のほかにも、要望など時間をかけています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  入居前にサービス内容を考えていますが、入所された後にも、本人の要望に答え柔軟に対応しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)  入居者と一緒に食事や、園芸、喫茶などを一緒に行い時間を供用しています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  外出、外泊の促しや物品購入などの援助をお願いしています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)  町内などなじみのお店にドライブに出かけたり、お墓参りに寺社へ送迎を行っています。  (外部評価)  以前住んでいた町のスーパーに買い物に行かれることもある。若年の利用者は、日中、町の共同作業所に通っておられ、作業所の仕事仲間がお菓子を持って訪ねて来てくれたこともある。	事業所は、利用者主体の個別で細やかなケアを目指していきたいと考えておられる。今後さらに、利用者個々の「行ってみたい場所」「懐かしい人や場所」等を訪ねていけるよう支援されたり、入居してから築かれる人との関係についても大切に支援していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	職員が話題の提供や場作りを行い、コミュニケーションをとりやすい環境を作っています。
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退居後も連絡を入れたり介護相談に応じるようにしています。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	ご本人と一緒にになれる環境を作り話し合い、希望に乗っています。
			(外部評価)	
			職員は、「ケース記録の仕方」について外部研修で勉強されて、日々の介護記録には、利用者が「できたこと」「よくなったこと」等、「よいこと」を記録できるよう取り組まれており、「ご家族がみるものとして記録する」ことを始めておられる。職員は、「利用者中心で物事を考え、取り組みをすすめていきたい」と話しておられた。	
				さらに利用者本位のケアに取り組むためにも、利用者一人ひとりの、「これまでのこと・現在のこと・これからのこと」の情報収集に取り組み、介護計画につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	生活歴、趣味、嗜好など個人の性格をセンター方式にて把握しています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	一人一人の一日の生活状況を理解し、介助しています。



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアカンファレンスにおいて、会議録、前回プランの見直しなどを行い、プラン作成に役立てています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各ユニットで職員が集まり、サービス担当者会議を行い、利用者個々の困っていることや課題について職員の気づき等を話し合い、それらを踏まえて管理者や計画作成担当者が介護計画を作成されている。さらに、利用者が持っている力を活かして地域の中で生活を広げていけるような支援が実践できるよう、介護計画の内容についても工夫されてみてはどうか。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期記録以外にも連絡帳に、必要な情報を共有して実践に励んでいます。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>申し送り時に必要に応じ話し合いを設け、情報の把握をしています。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在、地域支援活動の一環として障害者向けの就労法人に週1回参加されている方が1名います。さらに、ボランティア活動の一環で、定期的に施設内で、琴の演奏会をしています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所される前に、かかっていた医療機関を優先に受けられるように配慮慕います。	
			(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医に診てもらえるよう支援されている。事業所では、日々のバイタルチェック・受診、往診、服薬や排泄、入浴等、全体が把握できるよう「健康チェック表」の様式を新しく作っておられる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 週1回程度、看護師による健康チェックを行っています。スタッフの相談にも時間外でも対応しています。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 医療機関の地域連携機関ともに連絡を取りながらスムーズに入退院できるように努めています。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 身体の状態に応じご家族や主治医と相談するようにしています。	
			(外部評価) 入居契約時には、「看とりに関する指針」をご家族に説明して、事業所の医療連携体制を理解していただき、又、看とり支援時には、「毎日ご家族に来訪していただきたい」ことを伝え、支援の希望についてお聞きしている。職員は、町主催の「地域ケア会議」で行われた町外の他事業所の看とりの事例を交えた講話を聞き、「事業所でも利用者を最期まで支援したい」という気持ちを持った方も複数ある。事業所では、「将来的には利用者の看とりを支援したい」と思っておられ、今後は、利用者やご家族の看とり支援についての希望や心配ごとを聞き取るような機会作りや、事業所の力量や体制作りの取り組みをすすめていかれてほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時マニュアルを作成しており、定期会議にて研修会を設けています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に二回、消防署立会のもと、避難訓練を実施しています。その際に、防災研修も行っており、知識を向上させています。	
			(外部評価) 消防署の協力を得て、避難訓練や水消火器を使った消火訓練を行われたり、AED(自動体外式除細動器)の使用方法等の救急救命法の講習を受けておられる。事業所は、地盤の固い場所に建てた事業所で、建物に耐震性もあるとのことから、組の集まりの際には、代表者や管理者が、「災害時等には、事業所を避難場所として利用してほしい」と地域の方々に話しておられる。さらに、いざという時のために担架等も用意されている。今月下旬には地震を想定した避難訓練を利用者とともにを行うことを予定されていた。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日頃の生活の中で、プライバシーの確保が出来るようにしています。なかでも、排泄、入浴は細心の注意を行っています。	
			(外部評価) 法人では、職員にアンケートを取り、「介護とは何か」「職員にとって必要なことは何か」等、ケア等についての意識調査をされ、「私語の禁止」「利用者への対応」「職員の研修受講」「会議の出席」「役割分担」について取り決めを作られた。台所には、「私語禁止」と貼り紙をされていた。事業所の勉強会時、管理者は、職員の利用者への対応について事例を挙げ、みなで話し合う機会を作っておられ、職員が日々のケアを振り返ったり、気付くことができるように取り組まれている。調査訪問時には、食事介助やパット等の排泄用品の扱い等、プライバシーに配慮が必要と感じるような場面も見受けられた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 基本的に、入居者に相談し入居者の意向にそうようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  個々の状況に合わせて行います。難しい場合は、話し合いの場を設けます。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  季節に応じ、衣類の購入や、衣替えを行います。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  入居者の手伝いが出来る範囲で一緒に行っています。旬の食材を取り入れながら季節を楽しんでいます。  (外部評価)  食材は、週に2回スーパーに買い出しに利用者で行かれています。職員は、利用者のとなりに座り、一緒に同じものを食べておられた。利用者によっては、ごはんをおにぎりにして食べやすくされていた。又、利用者の中には、「堅いからね」と、白身フライを味噌汁に浸してから食べる方もみられた。中庭に出て、菜園でトウモロコシやナス等を探り、そこでバーベキューを楽しまれることもある。今後さらに、時には、普段の食事をご家族や外部の方も食べてみるような機会を作り、「食事を楽しむ」という観点から、感想をお聞きしたり、支援の工夫について話し合ってみてはどうだろうか。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  水分摂取は記録に残し、必要に応じ摂取しております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  個々に応じ、口腔ケアを実施しております。場合に応じ歯科の受診を行います。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 定期的な排泄の声掛けを行いトイレへの誘導介助を行っています。	事業所では、今後さらに、「利用者一人ひとりが気持ちよく排泄できるような支援に力を入れて取り組んでいきたい」と考えておられる。管理者は、排泄の支援には、「利用者や職員の信頼関係が大切」という考えのもと、まずは、「利用者への言葉かけ等が適切に行えるよう取り組みたい」と話しておられた。
			(外部評価) 「健康チェック表」を用いて、利用者個々の排泄状況を記録して、水分摂取や入浴等も踏まえて、できるだけ薬を使わず排泄できるような支援を検討されている。職員が2名でトイレ内で介助する際には、空間の制限もあり、介助に不自由な面もあるようだが、利用者の持っている力を十分に活かしながら、今後も、利用者の立場に立った排泄支援の工夫を考えていかれてほしい。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 日々の水分摂取量をチェックし、個人にあった対応をしています。場合に応じ、医師より処方された下剤を使用した排便管理を行っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 一般入浴に近い夜間入浴を行っています。場合により、日中帯の支援を行っています。	
			(外部評価) 利用者の入浴の習慣や「日中に入るのは病院みたいな」と言われる利用者もいることから、事業所では、夕食後、だいたい19時～21時までの間に毎日3名ずつ、一人が週に2～3回程度、入浴できるよう支援されている。皮膚に湿疹やかゆみのあるような方は、医師と相談して2日に1回入浴を支援されている。現在は、浴槽をまたぐことが難しい利用者は、シャワー浴となっている。脱衣所には、利用者個別にシャンプー等を用意されていた。さらに、職員の入浴介助等の技術アップや用具等を工夫して、利用者の希望や体調等もみながら、ゆっくり湯船で温まれるような支援にも工夫されてほしい。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間を21時に設定していますが、個々の就寝時間に合わせ柔軟に対応しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	2名体制での確認を取っており、誤投薬がないように細心の注意を図っています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	個別ケアを実践しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	定期での外出支援や、買い物外食などの支援を行っています。
			(外部評価)	外出の希望をあまり表わさないような利用者もあるようだが、飼い犬の散歩や食材の買い出しに誘ったり、時には、ドライブしたり、町内の喫茶店にお茶を飲みに出かけたりされている。さらに、利用者が、「散歩してみよう」と思えるような場面作りにも工夫されてほしい。外出支援は、ご家族が事業所に期待する支援でもあり、又、事業所でも個別支援を目指しておられることから、ご家族の要望等もお聞きして一緒に話し合いながら支援を工夫してみしてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	基本的には、施設で野管理を実施していますが、個人の能力に応じ、小額程度の金銭を個人で管理しています。
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	居室に電話を設置し、ご家族、知人、旧友などに、居室より電話をしております。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた花々や装飾品を展示し、季節感を楽しんでいます。	
			(外部評価) 居間の窓からは、山々の様子も見えて、季節の移り変わりを感じられる。夜間、中庭にタヌキの親子が顔を見せることもあるようだ。ベランダでは、コーギー犬の「太郎」を飼っておられ、ユニット同士で行き来できるようになっている。又、通学途中の子ども達が犬に声をかけてくれる。へちまのグリーンカーテンを作り、プランターの花の世話等をされる利用者もいる。居間の一角には、腰を降ろせる高さの畳のスペースがある。居間のテーブルは、3ヶ所に分かれており、中庭で採って来られたカヤツリグサを瓶に生けておられた。居間の壁には、手作りのリースや手芸作品等、お得意な方の作品を飾っておられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブルの配置を考慮し、ゆったりとした空間にしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は、自宅に居るような感じを作り、個人の私物なども持ち込んでもらって自由な空間作りを共に作っています。	
			(外部評価) 居室の窓からは山や畑の緑が見え、自然の光が入り明るい。居室に、い草の敷物を敷いてこたつ机を置き、ビーズ小物や梱包テープで金魚を作ったり、広告等で手芸を楽しむ方がおられ、自室の窓から、道を歩く人の姿が見えると、声をかけてプレゼントされることもある。別ユニットの方から、しきびを分けてもらって、ご主人の写真に飾っておられる方もあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 自立した生活が出来るように、広々とした空間で生活動線上に手すりを設け、障害者トイレを設置しています。車イスの離合も考慮した設計になっております。	